

Ⅲ 地域保健課の業務概要

地域保健課の業務は、保健師関係指導事業、母子保健事業、成人・老人保健事業、総合的な自殺対策推進事業、地域・職域連携推進事業、栄養改善事業及び精神保健福祉事業を主要業務として、管内市町及び関係機関と連携を図りながら事業を推進している。

1 保健師関係指導事業

保健師は、企画課・地域保健課・疾病対策課・成田支所に配属され、センター内各種保健指導業務の他、市町村保健活動に対して、各種会議や連絡会等で計画・評価の支援を行っている。

また、保健活動の推進を図り、市町保健従事者の充実に努めるとともに、管内看護管理者研修会の開催、印旛郡市保健指導者研究会等への支援、管内保健師現任教育連絡会、管内新任期及び中堅期・管理期保健師研修会を開催し、資質の向上を図っている。

(1) 管内概況

管内の保健師就業数は、保健所に19人（副センター長1人、企画課1人、地域保健課6人、疾病対策課8人、成田支所3人）であり、市町村保健師は、平成28年4月1日現在167人（新規採用者4人）である。市町で保健衛生関係に従事する者は108人、福祉に32人、介護保険に21人、その他6人となっている。

表1－(1) 管内保健師就業状況（平成28年4月1日現在）

(単位：人)

区 分 年 度	総数	保健所	市 町 村			
			保健衛生	福祉	介護保険	その他
平成26年度	187	19	115	26	22	5
平成27年度	189	20	112	29	22	6
平成28年度	186	19	108	32	21	6
成 田 市	27	-	15	12	0	0
佐 倉 市	36	-	24	7	2	3
四 街 道 市	20	-	14	2	3	1
八 街 市	14	-	11	0	3	0
印 西 市	25	-	16	4	4	1
白 井 市	20	-	13	4	3	0
富 里 市	11	-	8	1	2	0
酒 々 井 町	7	-	5	0	1	1
栄 町	7	-	2	2	3	0

(2) 保健所保健師活動

地域保健法の施行により対人サービスの多くは住民に身近な市町村が実施しており、保健所保健師は、広域的・専門的な活動を中心に事業を実施し、市町村や関係機関と連携を取りながら支援活動を展開している。

表1－(2) 家庭訪問等個別指導状況（平成29年3月31日現在）

(単位：件)

種別	家庭訪問		訪問以外の保健指導				個別の連携 ・連絡調整
	実数	延数	面接		電話	メール	
			実数	延数	延数	延数	延数（再掲：会議）
総数	335	564	1,257	1,493	2,726	151	552(9)
感染症	122	134	54	60	571	37	154(0)
結核	156	345	219	323	1,768	94	267(1)
精神障害	3	6	3	6	3	0	5(4)
長期療養児	16	23	107	111	63	10	75(1)
難病	32	50	693	796	118	0	45(3)
生活習慣病	0	0	0	0	0	0	0(0)
その他の疾病	0	0	89	105	1	0	0(0)
妊産婦	0	0	0	0	1	0	2(0)
低出生体重児	0	0	0	0	1	0	-
(未熟児)	0	0	0	0	(1)	0	-
乳幼児	0	0	0	0	1	0	-
その他	6	6	92	92	199	10	4(0)
訪問延世帯数	329	555					

(3) 保健師関係研修（研究）会実施状況

ア 管内保健師業務連絡研究会

表1－(3)－ア 管内保健師業務連絡研究会実施状況

開催年月日	テーマ	主な内容	参加人員 (人)
平成28年 5月23日	各市町が新しい情報を取り入れ、地域の特性に応じた効果的な保健活動の推進を目指す。	・ 事業検討「予防接種について」 日本脳炎・B型肝炎定期予防接種、予防接種に関する様々な周知等、予防接種事故、外国人対応について	16
平成28年 7月23日		・ 講演会「災害時の保健活動について」 東京医療保健大学 准教授 渡曾 睦子氏 ・ 事業検討「災害時の保健活動・支援体制づくり」 災害発生時の組織体制について、市町災害対策担当課との連携、災害マニュアルの有無、災害弱者への対応、平常時の取組みについて	講演会 30 事業検討 26
平成28年 9月5日		・ 事業検討「データヘルス計画と地区診断」 データヘルス計画の策定、地区診断について ・ 講演会「事業評価のあり方①～研究の手法について～」 講師：千葉県立保健医療大学 准教授 雨宮 有子氏	事業検討 13 講演会 16
平成28年 10月7日		・ 事業検討「特定保健指導について」 健診後から初回面接までの流れ、集団教室の外部委託状況、継続支援等について ・ 講演会「効果的な保健指導・面接技術について」 講師：田那村内科・小児科医院 医師 田那村 雅子氏 国立成育医療研究センター 保健師 三瓶 舞紀子氏	事業検討 12 講演会 18
平成28年 11月4日		・ 事業検討「妊娠・出産包括支援事業について」 妊娠届時の保健師全数面接、ハイリスク妊婦への対応等について、既に事業を実施している市町での現状等について	18
平成28年 11月11日		・ 講演会「事業評価のあり方②～研究の手法について～」 講師：千葉県立保健医療大学 准教授 雨宮 有子氏	9
平成29年 1月16日		事業検討「がん検診について」 各市町がん検診の実施状況、新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業、精度管理について ・ 講演会（厚生労働省研究事業「若年がん患者に対するがん・生殖医療（妊孕性温存治療）の有用性に関する調査研究」啓発を兼ねたもの） 「がん・生殖医療について」 亀田総合病院生殖医療科部長 川井 清考氏	事業検討 15 講演会 14

イ 所内保健師研究会

表1-(3)-イ 所内保健師研究会実施状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人員 (人)
平成28年 5月19日	1 27年度事業評価と28年度の重点活動について 2 熊本地震 災害派遣保健活動報告 3 講演：「保健活動における研究の視点」 講師 千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科 准教授 雨宮 有子氏	11
平成28年 7月29日	1 医療機関立入検査（医療監視）・院内感染対策について 2 保健活動業務研究集録、県公衆衛生学会への参加について 3 印旛地域の災害医療対策について情報提供	13
平成28年 10月17日	1 保健活動業務研究集録、県公衆衛生学会について 2 「保健統計から見える管内の健康課題」	15
平成29年 3月6日	1 印旛管内の災害時保健活動 「印旛健康福祉センター保健師の発災時の活動内容」と「避難所健康管理マニュアル」の共有 2 本年度の活動のまとめと次年度計画 「保健活動・保健事業」計画書に基づき各事業担当保健師から報告	14

ウ 保健所保健師ブロック研修会

表1-(3)-ウ 保健所保健師ブロック研修会実施状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人員 (人)
平成29年 2月22日	・講演1「実践力を高めるための事例検討会」 講師 千葉科学大 看護学部 教授 安藤智子氏 准教授 岩瀬靖子氏 ・講演2「保健所の視点から災害時の母子支援を考える」 (平成28年度海匝健康福祉センター主催)	17

エ その他

表1－(3)－エ その他

開催年月日	主 な 内 容	参加人員 (人)
平成28年 7月4日	第1回管内保健師現任教育連絡会 1 平成27年度実施結果について 2 平成28年度管内新任期(1～3年目)保健師及び中堅期保健師研修会について 3 保健師現任教育の現状と課題について	16
平成29年 1月26日	第2回管内保健師現任教育連絡会 1 管内保健師現任教育の現状と今後の取組みについて 2 講演・演習 「災害時における統括的立場にある保健師の役割」 講師 千葉大学大学院看護学研究科 准教授 伊藤尚子氏	17
平成28年 5月6日	第1回管内新任期保健師研修会 1 講義 管内地域の概況及び健康福祉センター業務 について 講師 センター長、副センター長、各課長 2 交流会	6
平成28年 12月20日	第2回管内新任期保健師研修会 1 保健師記録の振り返り グループワーク・発表 2 保健師記録の実際 課題事例を使った演習(グループワーク)・発表 3 まとめ・講演「保健師記録を振り返ろう」 講師 東京医科大学医学部看護学科 地域看護学 准教授 吉岡 京子氏 4 交流会	13
平成28年 11月29日	管内中堅期保健師研修会 1 講演「保健師の実践能力を高めるためのリフレクション」 講師 千葉県立保健医療大学 健康科学部看護学科 教授 佐藤紀子氏 2 グループワーク 担当事業に取り組んでいる事業の中で気がかりなことを話し合っ、気付きを保健活動力に転換していくための力を磨こう!	14

(4) 管内看護管理者研修会

表1－(4) 看護管理者研修状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人員 (人)
平成28年 12月14日	1 講演 「災害時における看護管理者の役割」 講師 千葉大学大学院看護学研究科 准教授 伊藤 尚子氏 2 交流会 施設紹介、情報交換等	85

2 母子保健事業

広域的・専門的な取り組みとして、母子保健事業の充実を図るため、管内専門医療機関・市町との連絡会議を開催し、育児支援の充実に努めている。

長期療養児療育指導として、専門相談や講演会等を実施し、災害時支援を含めた療養支援の充実を図っている。

思春期保健事業として、系統的・継続的な性(命)の教育推進のため、関係者と児童・生徒を対象とした講演会を実施し支援している。

また、平成16年度から不妊相談センターを開設している。

(1) 母子保健推進協議会

母子保健分野における問題点について、管内市町・医師会・関係医療機関・児童相談所・学校保健関係者等の代表者から構成される協議会を開催している。協議会の開催に先立ち、母子保健班長会議を開催し、管内市町の情報交換を行っている。平成28年度は切れ目ない妊娠・出産期への支援について話し合いを行った。

表2- (1) 母子保健推進協議会実施状況

開催年月日	委員数	主な協議内容
平成28年12月22日	31	(1) 報告事項 事前調査結果 (2) 講演「妊婦支援をしていく上で大切な視点について」 旭中央病院 小児科部長 仙田昌義氏 (3) 意見交換 ア 妊婦支援を実施していく上での課題 イ 他機関と連携していく上での課題 ウ 妊婦への切れ目ない支援のために必要な取組

(2) 母子保健関係研修会

管内の母子保健従事者を対象に、新生児・妊産婦訪問指導従事者研修会（山武保健所と交互に担当）、乳幼児救医療法講習会、管内推進員研修会（栄養担当と交互に担当）を実施し、資質の向上を図っている。

表2- (2) 母子保健関係研修会実施状況

研修会の名称	開催年月日	参加者数・職種	内容
管内推進員合同研修会	平成28年 12月12日	35	講演「現代の子育て事情と子供の心理～母に寄り添った支援に生かすために～」 講師：青葉の森こころの相談室 花澤佳子氏 活動報告 成田市保健推進員
新生児妊産婦訪問指導従事者研修会	平成28年 9月23日	26	講演「予防接種について」 講師：成田赤十字病院 第一新生児科 戸石悟司氏 担当：山武健康福祉センター

(4) 特定不妊治療費助成事業

特定不妊治療（体外受精・顕微授精）対象者に、千葉県特定不妊治療費助成事業実施要綱に基づく経費の助成を平成17年1月から開始している。

平成28年1月20日以降に治療を終了した方に対して、男性不妊治療費を15万円まで助成、初回治療は30万円まで拡充した。

ア 特定不妊治療費助成制度事業

表2-(4)-ア 特定不妊治療費助成実施状況

(単位：件)

年 度	実 件 数	延 件 数	内 訳			
			体外受精	顕微授精	男性不妊	そ の 他
平成26年度	394	643	130	235	- (-)	278
平成27年度	392	644	135	243	0(1)	266
平成28年度	385	638	118	294	1(5)	225

※男性不妊の件数は男性不妊治療単独の助成件数であり、()内の数値は、特定不妊治療を伴う男性不妊治療の助成件数である。

イ 不妊専門相談センター事業

表2-(4)-イ-(ア) 不妊相談実施状況

年度	回数	相談人員（専門医）	相談人員（保健師等）	
			随時	
平成26年度	6	12		13
平成27年度	6	15	随時	16
平成28年度	6	13		15

表2-(4)-イ-(イ) 不妊講演会実施状況

開 催 年 月 日	内 容	対 象	参 加 人 員
平成29年3月14日	自分の体を知る、生活習慣病・ 性感染症予防、不妊について等	千葉県立佐倉東高 等学校 1年生	227人

(5) 小児慢性特定疾病医療費助成制度事業

平成 27 年 1 月 1 日付け改正児童福祉法が施行となり、小児慢性特定疾病児童等の健全育成の観点から、小児慢性特定疾病医療支援に係る医療費の一部を助成し、小児慢性特定疾病児童等家庭の医療費負担の軽減を図ることを目的としている。

14 疾患群 722 疾病(包括疾病を含むと 777 疾病)の児童等(新規 18 歳未満、継続 20 歳未満)が対象となっている。

表 2 - (5) 小児慢性特定疾病医療費助成制度受給者状況 (各年 3 月 31 日現在)

(単位: 件)

疾 患 名		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	成 田 市	佐 倉 市	四 街 道 市	八 街 市	印 西 市	白 井 市	富 里 市	酒 々 井 町	栄 町
総 数		615	633	620	121	136	86	58	97	66	31	14	11
1	悪性新生物	78	73	72	11	17	15	2	10	6	5	3	3
2	慢性腎疾患	47	48	41	7	9	10	1	8	2	2	1	1
3	慢性呼吸器疾患	41	41	39	12	13	5	2	4	1	1	0	1
4	慢性心疾患	124	119	116	32	20	8	16	22	12	3	1	2
5	内分泌疾患	170	170	160	25	37	20	15	26	19	10	5	3
6	膠原病	17	13	16	1	3	1	2	3	4	2	0	0
7	糖尿病	47	52	44	8	5	13	4	8	4	2	0	0
8	先天性代謝異常	16	23	22	4	6	4	3	1	4	0	0	0
9	血液疾患	-	15	14	4	1	1	3	1	2	1	0	1
10	免疫疾患	2	3	4	1	0	0	0	0	1	2	0	0
11	神経・筋疾患	30	31	38	6	9	6	3	7	5	1	1	0
12	慢性消化器疾患	19	30	37	8	12	2	4	2	5	2	2	0
13	染色体又は遺 伝子に変化を 伴う症候群	1	10	11	1	2	1	1	5	0	0	1	0
14	皮膚疾患	3	5	6	1	2	0	2	0	1	0	0	0

(6) 療育医療制度

療育医療（児童福祉法第20条）は、長期の療養を必要とする18歳未満の結核治療のために入院を要する児童に対しての医療給付及び学用品や日用品の支給を行うものだが、平成26年度、平成27年度、平成28年度と申請はなかった。

(7) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

小児慢性特定疾病児童等の保護者の不安の軽減を図ることを目的とし、日常生活における知識、技術の向上、患者家族同士の情報交換の場として講演会を開催した。また、養護教諭や医療関係者等、支援者の知識や技術を高めることにより、長期療養児への生活支援を行えるよう、支援者向けの講演会も併せて実施した。

表2-（7）小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

名 称	実 施 年 月 日	参 加 人 数 ・ 内 訳	内 容
小児慢性特定疾病児童等交流会	平成28年 9月13日	41人 小児慢性特定疾病受給中の気管切開及び人工呼吸器装着児等の児と保護者及び関係職員	1 レクリエーション 2 講話「障害者と家族が地域で幸せに暮らしていくために」 3 情報交換
小慢性特定疾病児童等を対象とする医療・福祉等従事者講演会	平成29年 2月21日	43人 管内市町保健師、行政関係職員、病院、診療所、訪問看護ステーション、障害福祉サービス事業所等の関係職員	1 講演1「小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の更なる充実にむけて」 2 講演2「遊びを子どもたちに届けるボランティア「プレイリーダー」の活動について」 3 講演3「長期療養児のきょうだいへのかかわりについて～悩みを減らすために親やサービス提供者ができること」
小児慢性特定疾病児童等に対する講演会	平成29年 2月23日	39人 小児慢性特定疾病受給者であり成長ホルモン治療中または予定の者と保護者、保育園、幼稚園、小学校職員、市町保健師等	1 講演「低身長の見方と治療について」

(8) 思春期保健相談事業

学校保健と地域保健の連携を深め、思春期保健の推進を図るため、学校関係者や行政保健師等を対象に講演会を実施した。

表2- (8) 思春期保健事業講演会

名 称	開 催 年 月 日	参加者	内 容
思春期保健講演会(対象者向け)	平成28年 7月25日	32人 養護教諭、教諭、 市町保健師他	妊娠・出産を踏まえたライフプラン 講師 帝京科学大学医療科学部 看護学教授 齋藤 益子氏
思春期保健講演会(児童向け)	平成28年 11月18日	48人 印西市立平賀小 学校5,6年生、 教諭他	私たちはどうやって生まれてきたの？ 講師 sora-いんぐ出張専門助産院しまもり 助産師 島森 孝恵氏
思春期保健講演会(児童向け)	平成29年 2月24日	184人 八街市立谷地又 中学校3年生、教 諭他	命の大切さ、性感染症予防等について 講師 白井助産院 院長 白井 祐子氏
思春期保健講演会(児童向け)	平成29年 3月3日	49人 富里市立富里第 一小学校5,6年 生、教諭他	私たちはどうやって生まれてきたの？ 講師 sora-いんぐ出張専門助産院しまもり 助産師 島森 孝恵氏
思春期保健講演会(児童向け)	平成29年 3月6日	100人 富里市立富里南 中学校3年生、教 諭他	自分らしさを大切に 講師 成田赤十字病院 助産師 鈴木 佳代子氏

(9) 乳幼児救急医療講習会

母子保健対策の一環として、乳幼児に関する職員や家族が乳幼児の病変時対応ができるように乳幼児の救急法を学ぶ。

表2- (9) 乳幼児救急医療講習会実施状況

研修会の名称	開 催 年 月 日	参加者数・職種	内 容
乳幼児救急医療講習会	平成28年 7月28日	39人 保育園保育士、看護 師他	乳幼児救急の実践を学ぶ～園児の身を守る ために～ 日本赤十字社千葉県支部幼児安全法指導員 路野 富子氏、佐野 智佳子氏

(10) その他会議や連絡会等

表2-(10) その他会議や連絡会等実施状況

名 称	開催年月日	参加者数・職種	内 容
母子保健班長会議	平成28年 7月4日	17人 市町保健師	1 平成27年度母子保健事業実績と平成28年度事業計画について 2 妊娠・出産包括支援事業について 3 新生児聴覚検査の周知方法について
小児周産期連絡会	平成28年 1回目： 5月31日 2回目： 9月29日 平成29年 3回目： 1月24日	1回目：46人 2回目：47人 3回目：50人 医師、看護師、 市町保健師等	成田赤十字病院との連絡会 事例検討、退院時サマリーや連携項目の検討、 特定妊婦について講話及びグループワーク
妊産婦・乳幼児等支援連絡会	平成28年 7月13日	23人 医師、看護師、 市町保健師	東邦大学医療センター佐倉病院との連絡会 講話「未熟児のフォローアップ体制について他」 情報交換 妊産婦の支援体制、母子保健全般における要支援者の支援体制の確認について

(11) その他相談

専門相談を行っている健康福祉センターのみ掲載

3 成人・老人保健事業

介護老人保健施設に対し、サービスの質の確保、入所者の尊厳の保持、高齢者虐待防止法の趣旨をふまえ、看護及び栄養面等の実施指導を行った。

がん検診の受診率向上のため、がん及びがん検診に関する知識の習得を目的に管内健康推進員等を対象とした講習会を開催した。

(1) 介護サービス施設・事業所設置状況

管内には、介護老人保健施設20施設・訪問看護ステーション25施設がある。

(地域資料編に記載のとおり)

ア 介護老人保健施設実地指導

千葉県老人保健施設実地指導要綱に基づき、4施設について実地指導を行った。

表3- (1) -ア 介護老人保健施設実地指導状況

実施年月日	介護老人保健施設
平成28年8月25日	千葉新都市ラーバンクリニック (印西市)
平成28年9月29日	四街道徳洲苑 (四街道市)
平成28年10月4日	エスポワール成田 (成田市)
平成28年11月22日	アモールケア白井 (白井市)

(2) がん検診推進員育成講習会

各市町村の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより受診率の向上を図る。

表3- (2) がん検診推進員育成講習会

開催年月日	参加者数	内容
平成28年10月25日	45人	「正しく知ろう！乳がんの早期発見について」 講師 ちば県民保健予防財団 診療部長 橋本秀行 医師

(3) その他のがん対策事業

上記以外のがん対策事業を行った健康福祉センターが掲載する。

4 一人ひとりに応じた健康支援事業

生涯を通じて、一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じ、的確な自己管理ができるよう、健康づくりの支援体制を充実することを目的としている。

(1) 健康教育事業

思春期以降の全年齢層にわたる男女を対象に、性別やライフステージに応じた健康教室や講演会を開催する。

表4－(1) 健康教育事業

開催年月日	健康教室	参加人員
平成29年3月23日	「幸年期講座 じぶんらしく、元気で40代50代60代の歳を重ねる 智慧とコツ」 講師 NPO 法人 HAP (Healthy Aging Projects For Women) 理事長 宮原 富士子 氏	28人

(2) 健康相談事業

身体的、精神的な悩みを有する思春期以降の全年齢層にわたる男女を対象とし、電話相談に応じる。

表4－(2) 健康相談実施状況(電話)

(単位：件)

年度	区分	男性	女性	総数
	平成26年度		100	88
平成27年度		33	48	81
平成28年度		38	68	106

5 総合的な自殺対策推進事業

働き盛りの人たちの自殺が大きな社会問題となっており、自殺予防対策は重要な健康問題となっている。自殺対策取組状況や課題について管内市町担当者会議・地区連絡会議を開催し、関係機関の連携を図った。

また、管内のかかりつけ医と精神科医の医療連携を推進し、うつ病・うつ状態の方の早期発見・早期治療を目的として「うつ病連携パス」を作成し、平成25年12月から運用を開始している。さらに、行政等相談機関で把握した情報を医療機関と共有することで、相談者が医療機関を受診しやすくなることを目的とした情報提供書「相談内容連絡票」を作成し、行政相談窓口において活用を開始した。

(1) 住民向け講演会・相談対象者向け研修会

表5－(1) 研修会の実施状況

名 称	実施年月日	参加者数・職種	内 容
自殺対策講演会	平成29年1月19日	19人 保健師、警察、消防士、 精神保健福祉士、労働基 準監督署員等	講演「足立区の自殺対策について 生 きる支援の取組み」 講師 足立区役所 衛生部 こころとからだの健康づくり課 こころといのち支援係 係長 松山和代氏

(2) その他の会議等

表5－(2) 会議等の開催状況

名 称	実施年月日	参加者数・職種	内 容
管内自殺対策担当者会議	平成29年1月19日	11人 保健師、社会福祉士、事 務職等	議題 1 管内の自殺対策の概要 2 各市町における自殺対策の取組み と自殺対策計画について

(3) その他の事業

ア うつ病連携パス

うつ病・うつ状態の方の早期発見・早期治療を目的とし、管内のかかりつけ医と精神科医との連携を促進できるような紹介状の様式と運用枠組みを定めた「うつ病連携パス」を作成し、平成25年12月より運用を開始している。

また、平成27年1月からは、行政等における専門職が受けた相談内容を記載する医療機関への情報提供書「相談内容連絡票」を導入した。

イ 自死遺族支援

千葉いのちの電話による、わかちあいの会ひだまりを年6回(偶数月)に、個人対面相談を年6回(奇数月)に、当センターを会場に開催した。

(ア) わかちあいの会ひだまり 延19人

(イ) 個人対面相談 延8人

6 地域・職域連携推進事業

地域保健と職域保健の連携により、生活習慣病予防を中心とする各種保健事業の共同実施、地域保健関係施設等の相互活用等、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制の整備を推進する。平成26年度から平成28年度の3年間、「がんの早期発見・予防」をテーマに事業に取り組むこととし、平成28年度は作業部会1回と協議会1回、共同事業として講演会を1回開催した。

表6－(1) 印旛地域・職域連携推進協議会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
平成28年11月21日	27人	1 平成27年度事業報告と28年度事業計画について 2 3年間(平成26～28年度)の取組評価 ・作業部会報告 ・地域がん診療連携拠点病院(印旛保健医療圏)から報告 「がん相談支援センターの取組みについて」 日本医科大学千葉北総病院 院長 清野 精彦氏 3 今後の協議会での取組み課題と次年度計画について ・「印旛健康福祉センター管内の健康データ」報告

表6－(2) 印旛地域・職域連携推進協議会作業部会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
平成28年9月20日	12人	1 報告 (27年度事結果、28年度事業計画案、事前アンケート結果) ・「がん検診一覧表」の作成継続について 2 次年度以降の取組みテーマ、内容についての検討 ・印旛保健所管内の健康関連情報の分析結果 ・データヘルス計画等各市町及び職域(商工会やJA、フジクラ等企业)の健康課題、特定健診等取組み状況

表6－(3) 共同事業開催状況

開催年月日	主な内容
平成29年2月27日	講演 「禁煙・受動喫煙防止推進に向けて」～職場の禁煙環境を整えていくために大切なポイント～ 講師 医療法人社団聖母会 聖マリア記念病院 院長 太田不二雄氏(日本禁煙学会認定指導医) 対象 職員の禁煙を勧めたい職場健康管理担当者、地域の健康づくり推進者、身近に禁煙を勧めたい方がいる人、禁煙等の知識を深めたい人等 参加 31人

7 栄養改善事業

印旛管内ではメタボリックシンドローム予備軍が多く、急速な高齢化が進んでおり、今後、循環器疾患に罹患する者が増加することが予想される。このような状況を踏まえ、地域における健康づくり事業の推進や食生活改善推進員等の研修・各種栄養関係団体の育成・給食施設指導を行い、生活習慣病を予防し地域における健康づくりを推進した。

また、難病や食習慣に起因する疾患の患者等を対象にQOLの向上を図るため、講演会を開催した。

(1) 健康増進（栄養・運動等）事業

地域の健康課題を踏まえて、地域における健康づくり推進事業の推進、健康づくりの担い手である食生活改善推進員及び各種栄養関係団体の育成を図った。

また、病態栄養指導として、神経難病患者・家族に対する講演会及び食物アレルギー講演会を開催した。

表7－（1）健康増進（栄養・運動等）指導状況

（単位：人）

		個別指導延人員								集団指導延人員						
		栄養指導	(再掲) 病態別 栄養指導	(再掲) 訪問による栄養指導	運動指導	(再掲) 病態別 運動指導	休養指導	禁煙指導	その他	栄養指導	(再掲) 病態別 栄養指導	運動指導	(再掲) 病態別 運動指導	休養指導	禁煙指導	その他
実施数	妊産婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	乳幼児	—	—	—	/	/	/	/	—	—	—	/	/	/	/	—
	20歳未満 (妊産婦・乳幼児を除く)	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20歳以上 (妊産婦を除く)	65	4	—	—	—	—	—	2	—	334	92	29	—	—	—
(再掲) 医療機関等へ委託	妊産婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	乳幼児	—	—	—	/	/	/	/	—	—	—	/	/	/	/	—
	20歳未満 (妊産婦・乳幼児を除く)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20歳以上 (妊産婦を除く)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

参照（地域保健・健康増進事業報告作成要領）

ア 病態別個別指導

表7- (1) -ア 病態別個別指導状況

(単位：人)

種別	区分	計	生活習慣病	難病	アレルギー疾患	摂食障害	その他
病態別栄養指導		4	2	—	2	—	—
病態別運動指導		—	—	—	—	—	—

※生活習慣病は、がん・高血圧・心臓病・高脂血症・糖尿病・肥満・貧血に関する指導をした場合に計上する。

イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

表7- (1) -イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

名称	開催年月日	対象者	参加数	内容
食物アレルギー教室	平成28年 9月21日	食物アレルギーを持つ保護者、関係者等	41	講演体験発表 「食物アレルギーを知ろう ～診断と治療、食事のコツについて～」 講師 小田内科医院 小児科医師 小田優子氏 体験発表 特定非営利活動法人 千葉アレルギーネットワーク 副理事長 桐谷利恵氏
神経難病患者・家族に対する講演会	平成28年 10月21日	神経難病患者とその家族	51	講演 「神経難病の基礎知識と最新治療について」 講師 成田赤十字病院 神経内科部長 吉川由利子氏 講演「安心して食べられる食事について」 講師 成田赤十字病院 摂食・嚥下障害看護 認定看護師 柴田恒子氏

ウ 地域における健康づくり推進事業

表7- (1) -ウ 地域における健康づくり推進事業実施状況

名称	開催年月日	対象者	参加数	内容
地域における健康づくり推進事業	平成29年 2月24日	栄養士、保育士、調理師、事務員、食生活・保健推進員等	65	講演「健康づくりのための おすすめ食習慣について」 講師 東京家政学院大学 教授 酒井治子氏

エ 国民（県民）健康・栄養調査

表7－（1）－エ 国民（県民）健康・栄養調査状況

調査名	調査地区（対象）	調査年月日・調査内容等
国民健康・栄養調査	白井市大山口地区 32世帯 78人	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年11月8日 栄養摂取状況調査、生活習慣調査 平成28年11月10日 身体状況調査

オ 特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

表7－（1）－オ－（ア）食品に関する表示相談・普及啓発実施状況

		業者への相談対応・普及啓発				
		相談（個別）		普及啓発（集団）		
		実相談食品数	延相談件数	回数	延対象者数	内容（講習会等）
特別用途食品及び特定保健用食品について		（－）	（－）	（－）	（－）	－
食品表示基準 について （保健事項）	栄養成分	20	25	－	－	－
	特定保健用食品	－	－	－	－	－
	栄養機能食品	1	2	－	－	－
	機能性表示食品	1	1	－	－	－
	その他※	－	－	－	－	－
健康増進法第31条第1項（虚偽誇大広告）		1	2	－	－	－
その他一般食品について（いわゆる健康食品を含む）		－	－	－	－	－
		県民への相談対応・普及啓発				
		相談（個別）		普及啓発（集団）		
		延相談件数	回数	延対象者数	内容（講習会等）	
特別用途食品及び特定保健用食品について		（－）	（－）	（－）	（－）	－
食品表示基準 について （保健事項）	栄養成分	－	1	9	講演会	
	特定保健用食品	－	－	－	－	
	栄養機能食品	－	－	－	－	
	機能性表示食品	－	－	－	－	
	その他※	－	－	－	－	
健康増進法第31条第1項（虚偽誇大広告）		－	－	－	－	
その他一般食品について（いわゆる健康食品を含む）		－	－	－	－	

（ ）内は、特定保健用食品再掲

※ 栄養成分以外の内容だった場合（特保、栄養機能食品、機能性表示食品は除く）

表7－(1)－オ－(イ) 食品表示等に関する指導状況（表示違反への対応）

		指導状況（個別）	
		実指導食品数	延指導件数
食品表示基準（こについて （保健事項）	栄養成分※	1（－）	2（－）
	機能性表示食品	－	－
	その他	－	－
健康増進法第31条第1項（虚偽誇大広告）		－	－
その他一般食品について（いわゆる健康食品を含む）		－	－

※ 栄養機能食品、特定保健用食品を含む （ ）内は、栄養機能食品、特定保健用食品再掲

表7－(1)－オ－(ウ) 特別用途食品許可取り扱い件数 (単位：件)

内 容	取扱件数
新規許可申請受付	0（0）
消滅事由該当届出数	0（0）
申請・表示事項変更届出数	0（0）

（ ）内は、特定保健用食品再掲

表7－(1)－オ－(エ) 特別用途食品に対する検査・指導件数 (単位：件)

管内で製造される特別用途食品数	実検査食品数	延検査・指導食品数
16（16）	0（0）	0（0）

（ ）内は、特定保健用食品再掲

カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導

表7－(1)－カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導状況

個 別		集団指導		
内容	延人員	内容	延回数	延参加者数
国民健康・栄養調査による 食事指導	70	－	－	－
		－	－	－

(2) 給食施設指導

管内給食施設は年々増加傾向にあり施設総数が348施設となった。そのうち、195施設に対して衛生管理及び栄養管理について食品衛生監視員と個別巡回指導を行った。

また、給食管理者及び従事者を対象に衛生管理を中心とした研修会と施設種別毎の研修会を開催して、給食管理、運営の向上を図った。

表7- (2) 給食施設状況 (単位：件)

施設 総数	管理栄養士 のみ いる施設		管理栄養士 栄養士どちらも いる施設			栄養士のみ いる施設		管理栄養士 栄養士 どちらも いない施設	管理栄養士 必置指定 施設		栄養成 分表示 施設	栄養 教育 実施 施設
	施 設 数	管 理 栄 養 士 数	施 設 数	管 理 栄 養 士 数	栄 養 士 数	施 設 数	栄 養 士 数		施 設 数	管 理 栄 養 士 数		
348	99	121	71	134	110	114	129	64	11	53	331	222

ア 給食施設指導状況

表7- (2) -ア 給食施設指導状況 (単位：件)

区 分			計	特定給食施設		その他の 給食施設
				1回300食以上 又は 1日750食以上	1回100食以上 又は 1日250食以上	
個別指導	給食管理指導	巡回個別指導施設数	195	56	88	51
		その他指導施設数	100	20	51	29
	喫食者への栄養・運動指導延人員		-	-	-	-
集団指導	給食管理指導	回数	5	5	5	5
		延施設数	306	17	188	101
	喫食者への 栄養運動指導	回数	-	-	-	-
		延人員	-	-	-	-

イ 給食施設個別巡回指導

表7- (2) -イ 給食施設個別巡回指導状況

	総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況									
			管理栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設		栄養士のみ いる施設		どちらもいない 施設			
			施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)		
計	計	348	195	99	60	71	48	114	60	64	27	
	学校	73	52	37	27	5	5	29	19	2	1	
	病院	29	29	5	5	24	24	-	-	-	-	
	介護老人保健施設	18	9	6	5	12	4	-	-	-	-	
	老人福祉施設	47	20	19	7	22	10	6	3	-	-	
	児童福祉施設	98	49	18	10	4	3	54	26	22	10	
	社会福祉施設	16	8	3	1	-	-	11	6	2	1	
	事業所	48	20	5	2	1	1	10	5	32	12	
	寄宿舎	7	3	3	1	-	-	1	1	3	1	
	矯正施設	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	11	5	3	2	3	1	3	-	2	2	
300食/回, 750食/日以上 ①	計	77	56	34	23	16	16	27	17	-	-	
	学校	56	39	30	21	5	5	21	13	-	-	
	病院	12	12	2	2	10	10	-	-	-	-	
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	児童福祉施設	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	
	社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	事業所	8	4	2	-	1	1	5	3	-	-	
	寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
100食/回, 250食/日以上 (①除く)	計	174	88	48	29	42	22	52	26	32	11	
	学校	17	13	7	6	-	-	8	6	2	1	
	病院	11	11	2	2	9	9	-	-	-	-	
	介護老人保健施設	16	8	5	4	11	4	-	-	-	-	
	老人福祉施設	32	12	13	4	18	7	1	1	-	-	
	児童福祉施設	57	25	14	8	2	1	32	14	9	2	
	社会福祉施設	4	2	1	-	-	-	3	2	-	-	
	事業所	28	12	3	2	-	-	5	2	20	8	
	寄宿舎	2	2	1	1	-	-	1	1	-	-	
	矯正施設	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	6	3	2	2	2	1	2	-	-	-	
その他の給食施設	計	97	51	17	8	13	10	35	17	32	16	
	学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	病院	6	6	1	1	5	5	-	-	-	-	
	介護老人保健施設	2	1	1	1	1	-	-	-	-	-	
	老人福祉施設	15	8	6	3	4	3	5	2	-	-	
	児童福祉施設	40	23	4	2	2	2	21	11	13	8	
	社会福祉施設	12	6	2	1	-	-	8	4	2	1	
	事業所	12	4	-	-	-	-	-	-	12	4	
	寄宿舎	5	1	2	-	-	-	-	-	3	1	
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	5	2	1	-	1	-	1	-	2	2	

※施設に出向き個別指導した件数を記入する。

※管理栄養士・栄養士配置施設の記入については、「衛生行政報告例記入要領」を参照すること。

ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導

表7-（2）-ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導（単位：件）

	給食施設開始（再開）	給食施設廃止（休止）	給食施設変更届
届出数	13	6	53
指導数	25	6	57

エ 給食施設集団指導

表7-（2）-エ 給食施設集団指導状況

名称	開催年月日	対象者	参加者数	内容
給食施設管理者・従事者研修会	平成28年6月21日	学校・児童福祉施設・事業所・寄宿舎の給食施設管理者・従事者	112	1 講義「給食施設の衛生管理」 食品衛生監視員 2 講話「印旛管内の健康課題と食生活」 栄養指導員
給食施設管理者・従事者研修会	平成28年6月22日	病院・介護老人保健施設・老人福祉施設・社会福祉施設・矯正施設・その他の給食施設管理者・従事者	111	1 講義「給食施設の衛生管理」 食品衛生監視員 2 講話「印旛管内の健康課題と食生活」 栄養指導員
保育園給食施設管理者従事者研修会	平成28年9月9日	保育園等の栄養管理担当者・食育担当者	52	1 講演「保育園等における食育の取り組みについて」 ～児の発育発達に合わせた食育～ 講師 木更津市立わかば保育園 管理栄養士 北島しづ子氏 2 グループ討議 「保育園での食育の取り組み」
病院・福祉施設等給食施設従事者研修会	平成28年10月13日	病院・介護老人保健施設・老人福祉施設・社会福祉施設・その他の給食施設の管理者・従事者	69	1 講演「病院給食施設における減塩の取り組みについて」 ～科学的根拠に基づいた食事提供～ 講師 東千葉メディカルセンター 臨床栄養部 栄養管理室長 井上小百合氏 2 グループ討議「減塩食の提供」
給食施設管理者・従事者研修会	平成29年2月10日	社員食堂及び寄宿舎の企業の健康管理担当者、給食業務管理者・従事者等	25	1 講演「安全・安心な給食の提供と利用者の健康づくり」 講師 (株)ヤクルト本社首都圏支店 (株)ヤクルトマネジメントサービス 2 グループ討議「給食施設における食事提供について」

(3) 健康ちば協力店推進事業

表7- (3) -ア 健康ちば協力店登録状況

平成29年度登録件数			累計状況	
登録件数	変更件数	取消件数	登録累計数	実登録店舗数
0	0	1	24 (内取消7)	17

表7- (3) -イ 健康ちば協力店推進事業実施状況

区 分	飲食店等に対する普及啓発及び指導状況		登録後の協力店に対する指導			県民に対する普及啓発及び指導状況	
	回 数	延人員	回 数	延店舗数	延人員	回 数	延人員
個別指導	0	0	0	0	0	0	0
集団指導	2	123	0	0	0	1	57
合 計	2	123	0	0	0	1	57

(4) 栄養関係団体等への育成・支援

表7- (4) 栄養関係団体等への育成・支援状況

組織状況及び活動状況			保健所による育成状況	
名 称	会員数及び加入組織数	活動内容	育成内容	延育成人員
印旛保健所管内食生活改善協議会	222人	住民の健康と福祉の増進、組織相互の連絡	総会・役員会の出席、研修会開催支援	73
印旛郡市集団給食管理者協議会	29施設	総会、研修会、役員会	総会・役員会の出席、研修会開催支援	66
印旛保健所管内栄養士会	81人	会員の資質の向上、会員相互の親睦	総会・役員会の出席、研修会開催支援	102
印旛保健所管内調理師会	23人	会員の資質の向上、食生活向上への寄与	総会出席、調理師大会の出席	23

(5) 市町村への技術・助言支援等

表7- (5) -ア 市町村への技術支援、助言

名 称	開催月日	対象者	参加者数	内 容
印旛郡市保健指導者研究会栄養士部会役員会	平成28年 5月9日 7月11日 11月7日 平成29年 2月13日	栄養士部 会役員	各4	栄養士部会年間の運営について 研究会企画・部会予算について 部会予算・次年度計画について 部会報告書(決算・実績)について

表7－(5)－イ 管内行政栄養士研究会等の開催状況

名 称	延回数	延参加人員	主な内容
印旛郡市保健指導者 研究会栄養士部会	4回	64	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回(6月13日) (1)情報交換「母親学級での栄養指導について」 (2)講演「妊娠期の栄養指導について」 ●第2回(8月8日) (1)講演「日本食品標準成分表2015年版の改定について」 (2)業務検討「地区(各市町)の健康課題について」① ●第3回(12月12日) (1)情報交換「高齢者の栄養指導について」 (2)講演「高齢者の食事について」 ●第4回(2月13日) (1)業務検討「地区(各市町)の健康課題について」② (2)講演「子供から高齢者までの熱中症予防のための水分補給」 (3)平成29年度実績・平成30年度計画について

※ 市町村(在宅)栄養士研修会を含む

(6) 調理師試験及び免許関係

表7－(6) 調理師試験及び免許取扱状況 (単位:名)

年 度	調 理 師 試 験			免 許 交 付		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
平成26年度	170	84	49.4	195	31	37
平成27年度	185	111	60.0	209	41	32
平成28年度	166	125	75.3	224	43	31

8 歯科保健事業

口腔保健に関する普及啓発事業を歯科医師会・教育庁等と連携し、実施した。

(1) 難病及び精神障害者等歯科保健サービス

表8- (1) 難病及び精神障害者等歯科保健サービス実施状況

名称	対象者	開催月日	内容	参加人員
平成28年度 実施なし				

(2) その他 (各保健所の独自事業)

表8- (2) その他 (各保健所の独自事業)

名称	対象者	開催月日	内容	参加人員
歯の衛生週間 審査会・表彰式	印旛郡市 在住 小中学生等	平成28年 6月9日	よい歯の表彰及び 歯科に関する作品の表彰 (主催) 印旛郡市歯科医師会 印旛保健所 千葉県教育庁北総教育事務所	表彰 対象者 397人
むし歯予防大会 (歯ッピーかみんぐ フェア)	地域住民	平成28年 10月30日	・歯科医師・歯科衛生士による健診、 相談 ・在宅介護、介護保険に関する相談 ・骨密度測定や健康相談 ・がん検診推進、禁煙推進 (共催及び後援) 佐倉市教育委員会 印旛保健所 佐倉地区医師会 佐倉市薬剤師会	健康相談 41人 スモーカー ライザー 測定 13人

9 精神保健福祉事業

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、保健所は精神保健福祉行政の第一線機関として位置付けられおり、法律に基づく入院事務等の業務と併せ精神保健福祉相談員や保健師等による相談及び訪問をベースに専門性や広域での連携や調整が必要な事項について市町村、医療機関、障害福祉サービス事業所等の地域の支援機関と連携を図り受療援助、精神障害者の社会復帰支援、普及啓発など地域精神保健福祉活動を実施した。

また、管内市町の精神保健福祉業務への技術支援等を行っており、管内精神保健福祉連絡協議会や、関係者連絡会議・担当者会議のほか、市町の開催する会議等にも参画・協力している。

(1) 管内精神科病院と入院等の状況

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部改正で、平成26年4月から保護者制度の廃止とともに、医療保護入院制度の見直しが図られている。

表9－(1)－ア 管内病床数・入院患者の状況（平成29年6月30日現在）

区分 年度 市町村	管内人口 (人)	(精神科病院数)	病床数 (床)	(人口万対病床数)	入県内患者数 (人)	人口万対入院患者数	管内の患者の入院先(再掲)					
							圏内の病院への入院患者数				圏外の病院への入院患者数	
							管内病院		管外病院			
							人	%	人	%	人	%
平成26年度	707,983	6	1,520	21.5	1,037	14.6	659	63.5	0	0.0	378	36.5
平成27年度	708,327	6	1,520	21.5	1,053	14.9	659	62.6	0	0.0	394	37.4
平成28年度	712,026	6	1,520	21.3	1,086	15.3	680	62.6	0	0.0	406	37.4
成田市	131,765	4	1,005	76.3	275	20.9	246	89.5	0	0.0	29	10.5
佐倉市	172,551	0	0	0.0	272	15.8	131	48.2	0	0.0	141	51.8
四街道市	89,839	0	0	0.0	96	10.7	34	35.4	0	0.0	62	64.6
八街市	70,131	1	180	25.7	123	17.5	88	71.5	0	0.0	35	28.5
印西市	94,293	1	335	35.5	145	15.4	84	57.9	0	0.0	61	42.1
白井市	61,772	0	0	0.0	47	7.6	7	14.9	0	0.0	40	85.1
富里市	49,747	0	0	0.0	63	12.7	49	77.8	0	0.0	14	22.2
酒々井町	20,881	0	0	0.0	36	17.2	21	58.3	0	0.0	15	41.7
栄町	21,047	0	0	0.0	29	13.8	20	69.0	0	0.0	9	31.0
県全体	6,239,018	52	12,616	20.2	8,719	14.0	5,929	68.0	617	7.1	2,284	26.2

※ 人口は、各年7月1日現在(千葉県毎月常住人口調査による)

表9－（1）－イ 管内病院からの届出等の状況

(単位：件)

種別 年度	医療保護 入院届 (家族等の 同意)	医療保護 入院届 (扶養義務 者の同意)	応 急 入院届	医療保護 入院届の 退院届	措置症状 消退届	措置入院 定期病状 報告書	医療保護 入院定期 病状報告	その他
平成26年度	468		2	445	31	13	470	10
平成27年度	472		3	455	38	14	474	19
平成28年度	517		6	500	49	20	491	15

※ その他は、転院許可申請 12 件、仮退院申請 2 件、再入院届 1 件の合計

※ 平成 26 年度より保護者制度廃止に伴い、「医療保護入院届（保護者の同意）」の保護者を家族等（扶養義務者含む）に読み替え件数を計上している。

(2) 措置入院関係

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 22 条から 26 条における申請・通報・届出を受理し事前調査を経て、診察の必要性がある場合には精神保健指定医の診察を実施した。

表9－（2）－ア 申請・通報・届出及び移送処理状況

(単位：件)

処 理 申請通報等の別	申請・ 通報 届出	診察の必要 がないと認 めた者	法第27条の診察を受けた者			法第29条の2の診察を受けた者			法第29条の2の2の 移送業務		
			法第29条 該当症状 の者	その他の 入院形態	通院・ その他	法第29条 の2該当症 状の者	その他の 入院形態	通院・ その他	1次 移送	2次 移送	3次 移送
平成26年度	401	367	32	2	0	24	0	0	0	0	10
平成27年度	425	362	37	3	2	19	0	10	0	2	8
平成28年度	426	352	61	3	2	22	3	5	0	1	32
法第22条 一般人からの申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第23条 警察官からの通報	404	336	55	3	2	22	3	5	0	1	31
法第24条 検察官からの通報	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	1
法第25条 保護観察所の長からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条 矯正施設の長からの通報	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の2 精神科病院管理者からの届出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の3 医療観察法に基づく指定医療機関管理者及 び保護観察所長からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第27条第2項 申請通報に基づかない診察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 「申請・通報・届出件数」は受理日で集計

※ 「法第 29 条の 2 該当症状の者」は、法第 27 条の診察を受けた者の内数

※ 1 次・2 次移送は、診察までの移送、3 次は措置決定後の病院までの移送

表9－（2）－イ 措置診察を受けた対象者の病名（単位：件）

病名 年度 結果	総 数	統 合 失 調 症 等	気 分 障 害	器質性 精神障害		中毒性 精神障害			神 経 症 性 障 害 等	パ ー ソ ナ リ テ イ 障 害	知 的 障 害	て ん か ん	そ の 他 の 精 神 障 害	そ の 他				
				認 知 症	そ の 他	ア ル コ ー ル	覚 せ い 剤	そ の 他										
				F0		F1									F4	F6	F7	G40
				F00 ～ F03	F04 ～ F09	F10	F15											
平成26年度	34	22	4	0	0	1	1	1	1	0	1	0	2	1				
平成27年度	70	30	7	5	0	2	7	1	0	3	1	0	7	7				
平成28年度	96	68	9	1	1	1	0	9	2	2	1	0	1	1				
診察 実施	要措置	83	64	7	1	0	1	0	7	2	0	0	0	1	0			
	不要措置	13	4	2	0	1	0	0	2	0	2	1	0	0	1			

※ 緊急措置診察を受け不要措置となった者の病名も含み、その他には病名不詳を含む。

※ F0～F9、G40は、世界保健機関（WHO）の国際疾病分類（ICDカテゴリー）の分類

表9－（2）－ウ 管内病院における入院期間別措置入院患者数（各年3月31日現在）

（単位：人）

入院期間 年度	総 数	6ヶ月未満	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
平成26年度	6	4	1	0	1
平成27年度	6	2	1	2	1
平成28年度	15	14	0	0	1

表9－（2）－エ 申請・通報・届出関係の相談等（各年3月31日現在）

（単位：人）

性・年齢 区分	実 数	性			年 齢					（延 回 数）
		男	女	不明	20歳 未満	20歳 ～ 39歳	40歳 ～ 64歳	65歳 以上	不明	
相談	30	13	17	0	3	8	15	4	0	49
訪問	99	46	53	0	3	33	52	11	0	284
電話	344	155	189	0	24	125	148	46	1	2,339

(3) 医療保護入院のための移送 (法 34 条)

指定医の診察の結果、精神障害者であり直ちに入院させなければその者の医療及び保護を図る上で著しく支障があり家族等の同意がある場合応急指定病院に 移送することができる。

表 9 - (3) 医療保護入院のための移送処理状況

(単位：件)

年度 \ 区分	受付件数	指定医の診察件数	移送件数
平成26年度	0	0	0
平成27年度	0	0	0
平成28年度	0	0	0

(4) 自立支援医療 (精神通院) 及び保健福祉制度関係

障害者総合支援法により市町村が窓口となり、通院医療費公費負担制度が自立支援医療として規定され、また精神保健福祉手帳により各種福祉サービスの利用が可能となっている。

表 9 - (4) - ア 自立支援医療 (精神通院医療) 利用者数 (各年 3 月 31 日時点)

(単位：人)

年 度 ・ 市 町 村	利 用 者 数
平成 26 年 度	7,974
平成 27 年 度	8,520
平成 28 年 度	8,968
成 田 市	1,484
佐 倉 市	2,504
四 街 道 市	1,182
八 街 市	1,045
印 西 市	964
白 井 市	728
富 里 市	543
酒 々 井 町	267
栄 町	251

表9－(4)－イ 精神障害者保健福祉手帳所持者数（各年3月31日現在）

(単位：人)

年度・市町村	計	1級	2級	3級
平成26年度	3,922	578	2,425	919
平成27年度	4,300	618	2,684	998
平成28年度	4,698	687	2,947	1,064
成田市	1,016	113	657	246
佐倉市	1,220	227	769	224
四街道市	648	100	387	161
八街市	533	72	347	114
印西市	431	60	257	114
白井市	317	42	193	82
富里市	272	30	179	63
酒々井町	137	27	78	32
栄町	124	16	80	28

表9－(4)－ウ 精神障害者福祉関係諸手続きの状況

(単位：件)

年度	区分	生計同一証明書 常時介護証明書 発行件数	社会適応訓練 申込書受理件数
平成26年度		40	0
平成27年度		39	1
平成28年度		43	0

(5) 精神保健福祉相談・訪問指導実施状況

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第47条により、精神保健福祉相談員等又は医師をして精神障害者及び家族等からの相談に対し相談・訪問・電話等に対応している。

表9－(5)－ア 精神科嘱託医による定例相談

実施日	時間	場所
毎月第3月曜日	13:30~16:00	印旛健康福祉センター
毎月第4火曜日	14:00~16:00	
毎月第4金曜日	14:00~16:00	印旛健康福祉センター成田支所

表9－(5)－イ 対象者の性・年齢

(単位：人)

性・年齢 区分	実数	性			年 齢					(延回数)
		男	女	不明	20歳未満	20歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上	不明	
平成26年度	373	211	162	0	25	116	168	64	0	629
平成27年度	356	198	158	0	22	108	167	59	0	528
平成28年度	282	146	134	2	18	89	135	34	6	665
成田市	36	22	13	1	5	14	16	0	1	101
佐倉市	111	50	60	1	8	33	54	15	1	268
四街道市	22	11	11	0	2	5	12	3	0	43
八街市	26	11	15	0	0	6	16	4	0	47
印西市	22	13	9	0	0	7	12	2	1	53
白井市	4	1	3	0	1	1	1	1	0	6
富里市	18	15	3	0	0	9	8	0	1	36
酒々井町	20	13	7	0	1	6	9	4	0	68
栄町	8	2	6	0	1	3	1	3	0	17
管外・不明	15	8	7	0	0	5	6	2	2	26
相談	200	103	95	2	12	61	99	23	5	427
訪問	82	43	39	0	6	28	36	11	1	238

※ 同一人により相談を3回・訪問を2回した場合、相談実数1、訪問実数1、計2となり、延回数は5回となる。

※ 電話相談は計上していない。

表9－(5)－ウ 電話・メール相談延件数

(単位：件)

	計	男性	女性	不明
電話	2,974	1,431	1,511	32
メール	88	42	46	0

表9－(5)－エ 相談の種別 (延数)

(単位：件)

種別 区分	総数	精神障害に関する相談				中毒性精神障害に関する相談			ギャンブルの相談	摂食障害の相談	心の健康相談	思春期の相談	老年期の相談	てんかん	その他の相談	
		開診する療科に	社会復帰等	生活支援	その他の相談	アルコール	覚せい剤	その他の中毒								
平成26年度	629	389	51	91	21	10	4	12	3	2	6	5	24	0	11	
平成27年度	525	231	36	102	19	14	38	6	5	7	12	3	36	1	15	
平成28年度	665	218	28	83	249	15	1	1	0	0	50	4	11	0	5	
相談	計	427	150	20	47	137	12	1	1	0	0	42	4	9	0	4
	男	231	64	12	23	75	11	0	1	0	0	40	1	0	0	4
	女	196	86	8	24	62	1	1	0	0	0	2	3	9	0	0
訪問	計	238	68	8	36	112	3	0	0	0	0	8	0	2	0	1
	男	131	35	5	12	70	0	0	0	0	0	8	0	1	0	0
	女	107	33	3	24	42	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1

表9－(5)－オ 援助の内容 (延数)

(単位：件)

種別 年度	総数	医学的指導	受療援助	生活生活指導	社会復帰援助	紹介・連絡	方関係機関調整	その他
平成26年度	1,657	74	243	155	58	413	398	316
平成27年度	1,572	68	224	161	33	422	368	296
平成28年度	665	24	12	156	13	158	193	109

※ 援助内容は重複あり

(6) 精神障害者社会復帰関係

社会復帰相談指導事業におけるデイケアクラブは平成26年度をもって終了。平成27年度はデイケアクラブOB交流会を3回開催した。平成28年度は新規にピアサポート講座開催とピアサポートグループへの会場提供を行った。

表9－(6)－ア デイケアクラブ

実施日	時間	内容
開催無し		

表9－(6)－イ デイケアクラブの活動状況

区分 年度	開催回数 (回)	参加者(人)					
		実人員			延人員		
		計	男	女	計	男	女
平成26年度	12	11	5	6	66	29	37
平成27年度	3	8	3	5	13	5	8
平成28年度	0	—	—	—	—	—	—

※ 平成27年度はOB交流会

表9－(6)－ウ ピアサポート講座

実施日	内容	講師	参加人数
平成28年 10月5日	WRAP(元気回復行動プラン)を体験しよう	WRAPファシリテーター 石井健一氏	30人
平成28年 11月9日	ピアサポートミーティングを体験しよう	ピアサポーター 小沢弘氏 小鷲直人氏	30人
平成28年 12月7日	傾聴とは～聴く力と発進する力を伸ばすには～	家庭内傾聴ファシリテーター 土佐実也恵氏	27人
平成29年 1月26日	ピアスタッフの活動について	もくせい舎ゆいピアスタッフ 戸辺博之氏	22人
平成29年 2月15日	地域移行支援について	成田地域生活支援センターPSW 佐々木孝美氏	20人
平成29年 3月15日	ピアサポートのこれからについて	進行 ぴあぴあ倶楽部 坂田昭一郎氏	14人
	合計		143人

(7) 地域精神保健福祉関係

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第46条により、精神障害についての正しい知識の普及等を目的とした会議・講演会・家族教室等を実施した。

表9－(7)－ア 会議・講演会等

会議・講演会等の名称	開催日	参加人数 (人)	対象者等
精神障害者地域移行支援協議会	年6回	219	管内関係機関職員
印旛管内意見交換・交流会	年4回	53	管内関係機関職員
印旛地域精神保健福祉連絡協議会	年1回	31	管内関係機関職員

表9－(7)－イ 家族教室・断酒教室・ボランティア講座・心の健康市民講座等

教室・講座等の名称	開催日	受講者数 (人)		内 容
		実数	延数	
精神障害者家族会交流会	平成28年7月8日	35	35	講演会「親との関係、親亡きあと～経験者の立場から～」

表9－(7)－ウ 組織育成

(単位：件)

種別 区分	総 数	家族会	断酒会	その他 (当事者グループ)
支援延件数	22	7	3	12

(8) 心神喪失者等医療観察法関係

平成17年度より医療観察法が施行されたことに伴い、当健康福祉センターからも関係機関との連携強化や地域処遇方針の共有等の目的のため各会議に出席している。

表9－(8) 医療観察法に係る会議への参加

(単位：件)

会議種別	CPA会議	ケア会議	その他
参加回数	11	18	2

※ 平成17年から医療観察法が施行されたことに伴い、健康福祉センター（保健所）においても各種会議への参加等が求められている。

※ 「その他」は、CPA 会議（CARE PROGRAMME APPROACH の略）とケア会議以外の会議に参加した者を計上している。

10 肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成20年度からインターフェロン治療、平成22年度から核酸アナログ製剤治療、平成23年度からインターフェロン3剤併用療法への医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。平成26年度にはインターフェロンフリー治療が助成対象となり、助成対象薬剤が拡充されたことに伴い、対象者が増加している状況である。

表10－(1) 肝炎治療特別促進事業受給者状況 (単位：人)

年度・市町村	治療 核酸アナログ 製剤	インターフェロン	インターフェロン フリー
平成26年度	253	113	79
平成27年度	278	16	453
平成28年度	312	1	238
成田市	28	0	49
佐倉市	69	0	54
四街道市	46	0	33
八街市	43	0	29
印西市	48	1	11
白井市	33	0	20
富里市	26	0	29
酒々井町	12	0	5
栄町	7	0	8

表 1 1 - (2) 指定難病医療費助成制度受給者状況

(単位 : 件)

年度・市町村別 疾患名 下段：重症（内数）	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	成田 市	佐倉 市	四街道 市	八街 市	印西 市	白井 市	富里 市	酒々 井町	栄 町
	総数	4,737	5,080	5,294	898	1,472	699	491	632	398	359	176
1 球脊髄性筋萎縮症	8 2	9 2	7 1	1 0	0 0	0 0	1 0	3 0	1 0	0 0	1 1	0 0
2 筋萎縮性側索硬化症	32 20	35 18	41 20	13 3	6 4	8 3	2 2	3 2	6 4	2 2	1 0	0 0
3 脊髄性筋萎縮症	4 4	5 5	4 4	1 1	3 3	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
5 進行性核上性麻痺	19 7	30 11	35 11	7 1	9 5	4 1	2 0	5 3	1 0	0 0	7 1	0 0
6 パーキンソン病	631 125	674 123	727 130	117 22	231 47	82 17	57 12	81 13	47 7	58 7	28 3	26 2
7 大脳皮質基底核変性症	10 5	14 4	18 5	1 0	3 2	6 2	1 1	1 0	1 0	4 0	0 0	1 0
8 ハンチントン病	5 2	5 1	5 1	0 0	0 0	3 0	0 0	0 0	0 0	1 0	1 1	0 0
10 シャルコー・マリー・トゥ ース病	1 0	6 0	8 0	0 0	4 0	1 0	1 0	0 0	0 0	1 0	0 0	1 0
11 重症筋無力症	118 3	120 3	118 4	15 0	31 1	20 1	14 1	10 1	14 0	6 0	4 0	4 0
13 多発性硬化症／視神経脊髄 炎	84 23	96 19	101 23	18 6	26 7	14 5	9 1	14 2	10 1	3 0	3 0	4 1
14 慢性炎症性脱髄性多発神経 炎／多巣性運動ニューロパ チー	19 1	24 1	24 1	3 1	8 0	1 0	2 0	4 0	3 0	2 0	1 0	0 0
15 封入体筋炎	1 0	2 0	2 0	0 0	0 0	2 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
17 多系統萎縮症	47 22	63 20	68 22	11 5	17 2	9 3	6 3	7 2	8 3	5 1	2 2	3 1
18 脊髄小脳変性症（多系統萎 縮症を除く。）	190 90	182 88	182 85	26 13	61 27	30 19	19 14	16 4	10 5	16 3	4 0	0 0
19 ライツゾーム病	3 0	3 0	3 0	0 0	2 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0

年度・市町村別 疾患名 下段：重症（内数）	平成	平成	平成	成 田 市	佐 倉 市	四 街 道 市	八 街 市	印 西 市	白 井 市	富 里 市	酒 々 井 町	栄 町
	26 年 度	27 年 度	28 年 度									
20 副腎白質ジストロフィー	1 0	1 0	1 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
21 ミトコンドリア病	5 3	6 3	6 3	3 1	1 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	1 1
22 もやもや病	90 18	92 18	97 18	17 1	24 5	11 2	10 3	12 6	13 1	4 0	3 0	3 0
23 プリオン病	2 2	3 1	2 2	0 0	1 1	1 0	0 0	0 1	0 0	0 0	0 0	0 0
26 HTLV-1 関連脊髄症	3 0	5 0	6 0	0 0	4 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0
28 全身性アミロイドーシス	3 0	9 0	8 1	1 0	2 1	1 0	0 0	0 0	1 0	1 0	2 0	0 0
30 遠位型ミオパチー	0 0	1 0	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
34 神経線維腫症	16 4	16 3	15 3	2 0	7 1	0 0	2 2	1 0	2 0	0 0	1 0	0 0
35 天疱瘡	24 2	21 1	22 1	5 0	4 0	2 0	2 0	2 0	2 0	3 0	0 0	2 1
36 表皮水疱症	2 0	2 0	2 0	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
37 膿疱性乾癬（汎発型）	5 0	7 0	7 0	0 0	1 0	2 0	0 0	3 0	0 0	0 0	0 0	1 0
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	1 1	1 1	2 1	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 1	0 0	0 0
40 高安動脈炎	30 5	29 6	31 5	6 1	9 1	7 2	0 0	4 0	3 0	2 1	0 0	0 0
41 巨細胞性動脈炎	0 0	1 0	2 0	0 0	1 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0
42 結節性多発動脈炎	11 0	14 1	12 1	4 0	3 1	1 0	1 0	1 0	1 0	0 0	1 0	0 0
43 顕微鏡的多発血管炎	32 2	37 1	43 1	9 0	13 0	7 0	5 0	2 0	3 0	1 0	2 1	1 0
44 多発血管炎性肉芽腫症	13 1	18 1	20 3	6 1	5 1	1 0	3 1	4 0	0 0	0 0	0 0	1 0

年度・市町村別 疾患名 下段：重症（内数）	平成	平成	平成	成 田 市	佐 倉 市	四 街 道 市	八 街 市	印 西 市	白 井 市	富 里 市	酒 々 井 町	栄 町
	26 年 度	27 年 度	28 年 度									
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	2 0	8 0	13 1	1 0	5 1	1 0	2 0	1 0	3 0	0 0	0 0	0 0
46 悪性関節リウマチ	35 13	34 12	34 13	6 3	4 3	5 1	3 1	9 2	3 1	3 2	1 0	0 0
47 バージャー病	31 2	31 2	30 2	7 0	8 1	2 0	2 0	2 0	4 1	2 0	1 0	2 0
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	0 0	2 0	2 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0
49 全身性エリテマトーデス	404 23	393 24	389 27	67 5	98 8	61 4	37 1	42 4	30 1	22 1	6 0	26 3
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	98 4	99 3	100 5	21 1	21 1	11 0	8 1	11 0	10 0	9 0	5 1	4 1
51 全身性強皮症	139 7	134 4	139 5	11 0	50 3	15 2	7 0	16 0	11 0	9 0	10 0	10 0
52 混合性結合組織病	70 2	72 3	68 3	11 0	15 0	10 2	12 1	9 0	4 0	3 0	3 0	1 0
53 シェーグレン症候群	3 0	11 0	19 0	2 0	9 0	7 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0
54 成人スチル病	3 0	12 0	16 1	2 0	5 0	0 0	5 1	3 0	1 0	0 0	0 0	0 0
55 再発性多発軟骨炎	1 0	2 0	2 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	1 0
56 ベーチェット病	117 11	123 11	123 12	24 3	39 3	14 2	14 1	12 2	9 0	6 0	4 1	1 0
57 特発性拡張型心筋症	135 27	135 25	138 28	31 10	34 3	24 6	8 0	15 1	10 3	8 2	4 0	4 3
58 肥大型心筋症	13 4	15 4	13 3	1 0	5 0	4 2	1 1	0 0	1 0	0 0	0 0	1 0
60 再生不良性貧血	63 1	66 2	68 3	18 2	14 1	6 0	5 0	9 0	4 0	7 0	3 0	2 0
61 自己免疫性溶血性貧血	2 0	4 0	7 0	2 0	0 0	0 0	2 0	1 0	0 0	2 0	0 0	0 0
63 特発性血小板減少性紫斑病	109 0	110 1	113 2	21 0	28 0	18 0	9 1	12 0	8 0	7 1	4 0	6 0

年度・市町村別 疾患名 下段：重症（内数）	平成	平成	平成	成 田 市	佐 倉 市	四 街 道 市	八 街 市	印 西 市	白 井 市	富 里 市	酒 々 井 町	栄 町
	26 年 度	27 年 度	28 年 度									
64 血栓性血小板減少性紫斑病	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
65 原発性免疫不全症候群	9 1	9 1	11 1	3 0	2 1	1 0	1 0	1 0	0 0	3 0	0 0	0 0
66 IgA 腎症	35 0	49 1	48 1	4 0	26 0	1 1	7 0	3 0	4 0	1 0	2 0	0 0
67 多発性嚢胞腎	4 0	18 2	28 4	3 0	7 1	5 3	2 0	6 0	2 0	3 0	0 0	0 0
68 黄色靭帯骨化症	16 0	20 1	20 1	7 0	4 1	2 0	2 0	2 0	2 0	1 0	0 0	0 0
69 後縦靭帯骨化症	245 30	248 28	236 27	51 5	49 9	33 2	23 2	30 5	17 2	18 1	6 1	9 0
70 広範脊柱管狭窄症	36 9	38 9	41 9	6 2	9 1	6 1	1 0	7 2	3 0	7 3	2 0	0 0
71 特発性大腿骨頭壊死症	78 1	79 1	100 1	22 0	24 0	13 0	6 0	12 1	7 0	11 0	2 0	3 0
72 下垂体性 ADH 分泌異常症	6 0	7 0	8 0	1 0	3 0	0 0	1 0	1 0	0 0	0 0	1 0	1 0
74 下垂体性 PRL 分泌亢進症	18 0	17 0	17 0	1 0	4 0	0 0	3 0	3 0	1 0	2 0	3 0	0 0
75 クッシング病	1 0	1 0	1 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
76 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	20 0	20 0	20 0	4 0	5 0	2 0	2 0	4 0	2 0	1 0	0 0	0 0
78 下垂体前葉機能低下症	53 2	57 2	69 2	9 1	15 1	12 0	6 0	15 0	2 0	5 0	3 0	2 0
80 甲状腺ホルモン不応症	0 0	0 0	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
81 先天性副腎皮質酵素欠損症	2 0	3 0	4 0	1 0	2 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0
84 サルコイドーシス	97 11	98 10	96 9	15 3	28 1	13 0	12 3	9 1	3 0	11 1	1 0	4 0

年度・市町村別 疾患名 下段：重症（内数）	平成	平成	平成	成 田 市	佐 倉 市	四 街 道 市	八 街 市	印 西 市	白 井 市	富 里 市	酒 々 井 町	栄 町
	26 年 度	27 年 度	28 年 度									
203 22q11.2 欠失症候群	- -	1 0	1 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
209 完全大血管転位症	- -	1 0	2 0	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
210 単心室症	- -	1 0	2 1	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	1 1	0 0	0 0	0 0
215 ファロー四徴症	- -	2 0	2 0	0 0	2 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
216 両大血管右室起始症	- -	1 0	1 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
220 急速進行性糸球体腎炎	- -	3 0	4 0	0 0	1 0	1 0	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0
222 一次性ネフローゼ症候群	- -	32 2	36 2	1 0	17 2	6 0	2 0	4 0	3 0	2 0	1 0	0 0
224 紫斑病性腎炎	- -	1 0	1 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
226 間質性膀胱炎（ハンナ型）	- -	3 0	4 0	1 0	2 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0
227 オスラー病	- -	3 0	6 0	0 0	4 0	0 0	1 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0
229 肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	- -	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
236 偽性副甲状腺機能低下症	- -	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
240 フェニルケトン尿症	- -	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0
271 強直性脊椎炎	- -	3 0	8 2	1 0	4 0	0 0	1 1	1 1	0 0	0 0	1 0	0 0
283 後天性赤芽球癆	- -	2 0	4 0	1 0	0 0	0 0	0 0	3 0	0 0	0 0	0 0	0 0
285 ファンconi貧血	- -	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0
292 総排泄腔外反症	- -	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0

年度・市町村別 疾患名 下段：重症（内数）	平成	平成	平成	成 田 市	佐 倉 市	四 街 道 市	八 街 市	印 西 市	白 井 市	富 里 市	酒 々 井 町	栄 町
	26 年 度	27 年 度	28 年 度									
296 胆道閉鎖症	- -	1 0	1 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
300 I g G 4 関連疾患	- -	2 0	5 0	3 0	1 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0
306 好酸球性副鼻腔炎	- -	18 1	31 1	4 0	8 0	2 0	7 0	5 1	0 0	0 0	2 0	3 0

※疾患番号 111～306 は平成 27 年 7 月 1 日施行

(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表 1 1 - (3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況 (単位：人)

年度	総 数	成 田 市	佐 倉 市	四 街 道 市	八 街 市	印 西 市	白 井 市	富 里 市	酒 々 井 町	栄 町
平成 26 年度	16	4	4	3	1	2	0	0	0	2
平成 27 年度	20	5	5	3	2	3	0	0	0	2
平成 28 年度	20	5	5	3	3	3	0	0	0	1

(4) 難病相談事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

表11-(4)-ア 在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況 (単位:人)

区分 年度	支援計画 策定 実施件数	支援計画 評価 実施件数	構 成 員					
			専 門 医	家 庭 医	看 護 師	理 学 療 法 士	保 健 師	そ の 他
平成26年度	2	1	-	-	2	-	8	13
平成27年度	4	1	2	-	2	-	9	25
平成28年度	3	1	-	1	3	-	8	17

イ 訪問相談事業

(ア) 訪問相談員派遣事業

表11-(4)-イ-(ア) 訪問相談員派遣事業実施状況

区分 年度	人 数	回 数	実 人 員	延 人 員
平成26年度	4	38	14	38
平成27年度	3	33	13	33
平成28年度	4	38	10	38

(イ) 訪問相談員育成事業

表 1 1 - (4) - イ - (イ) 訪問相談員育成事業実施状況

年度	区分 月 日	主 な 内 容	職 種	人 数
平成 26 年度	平成 26 年 7 月 25 日 平成 27 年 1 月 27 日 平成 27 年 2 月 10 日	神経難病講演会に従事 保健所保健師との同行 訪問 難病医療費助成制度説 明会に参加	保健師 看護師	7
平成 27 年度	平成 27 年 4 月 27 日 ・ 28 日 平成 27 年 10 月 20 日	訪問事例カンファレン ス開催 神経難病講演会に従事	保健師	4
平成 28 年度	平成 29 年 2 月 2 日	医療費助成制度や 神経難病、難病患者 の心理等に関する 講演	訪 問 相 談 員 (看 護 師) の ほ か、介 護 支 援 専 門 員 等 地 域 の 支 援 者	82 ※内、相 談員 1 名

ウ 医療相談事業

表 1 1 - (4) - ウ 医療相談事業実施状況

実施日	参加人数	実施会場	対象疾患	実施内容	従事者人数
平成 28 年 6 月 5 日	25	成田保健 福祉館	筋萎縮性側 索硬化症	神経内科医による講 演、参加者交流会	14
平成 28 年 10 月 21 日	51	印旛合同 庁舎大会 議室	進行性核上 性麻痺、大脳 皮質基底核 変性症、パー キンソン病、 多系統萎縮 症、脊髄小脳 変性症	神経内科医及び摂食 嚥下認定看護師によ る講演	7
平成 28 年 11 月 17 日	14	印旛合同 庁舎大会 議室	筋萎縮性側 索硬化症	理学療法士及び言語 聴覚士による講演、 参加者交流会	14
平成 28 年 11 月 30 日	30	印旛合同 庁舎大会 議室	進行性核上 性麻痺、大脳 皮質基底核 変性症、多系 統萎縮症、脊 髄小脳変性 症	神経内科医による講 演、参加者交流会	8
平成 29 年 3 月 6 日	30	印旛合同 庁舎大会 議室	脊髄小脳変 性症	参加者交流会	10

エ 訪問指導事業

表 1 1 - (4) - エ 訪問指導事業実施状況(疾患別) (単位：件)

疾 患 名	平成26年度	平成27年度	平成28年度
総 数	75	56	49
多発性硬化症	1	-	-
全身性エリテマトーデス	1	-	1
筋萎縮性側索硬化症	17	16	23
脊髄小脳変性症	26	20	2
悪性関節リウマチ	3	-	-
パーキンソン病 (26年度まではパーキンソン病関連疾患 で集計)	6	8	1
核上性進行性麻痺	-	2	2
後縦靭帯骨化症	3	-	-
多系統萎縮症	4	1	6
網膜色素変性症	3	-	1
潰瘍性大腸炎	1	-	1
広範性脊柱管狭窄症	4	2	-
バージャー病	1	-	-
多発血管炎性肉芽腫症	2	4	-
もやもや病	1	1	-
特発性拡張型心筋症	2	-	2
オスラー病	-	1	-
ハンチントン病	-	1	3
脊髄性筋萎縮症	-	-	1
ミトコンドリア病	-	-	1
クローン病	-	-	1
筋ジストロフィー	-	-	3
ウエスト症候群	-	-	1

オ 訪問診療等事業

表 1 1 - (4) - オ 訪問診療等事業実施状況 (単位：人)

区分 年度	指導人数		実施方法	従事者人数					
	実 人 員	延 人 員		専 門 医	主 治 医	看 護 師	理 学 療 法 士 等	保 健 師	そ の 他
平成 26 年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成 27 年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成 28 年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 訪問リハビリテーションも含む。

カ 窓口相談事業

表 1 1 - (4) - カ 相談内容 (単位：人)

内 容	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
相 談 者 数 (延)	6,349	3,502	1,371
申 請 等	5,403	3,365	1,161
医 療	122	3	24
家 庭 看 護	75	21	84
福 祉 制 度	271	107	58
就 労	-	1	3
就 学	-	-	-
食 事 ・ 栄 養	31	1	2
歯 科	4	-	-
そ の 他	443	4	39

キ 難病患者を対象とする医療・介護従事者研修

表 1 1 - (4) - キ 難病患者を対象とする医療・介護従事者研修実施状況

実施日	テーマ	対象者 (職種)	参加者数	内容
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-

1 2 市町村支援

管内市町の事業が、円滑な推進が図られるよう、市町健康づくり推進協議会等へ委員として参加し、事業計画・評価の支援を行っている。

また、精神保健福祉業務の支援としては、個別ケースへの同行訪問や相談同席、コンサルテーション等ケース処遇に関する支援と知識普及を目的とした研修、会議を実施した。

(1) 市町村への支援状況

表 1 2 - (1) 市町村への支援状況

項目 市町村	会 議 ・ 連 絡				技 術 的 支 援		
	会 議 名	回数 (回)	職 種	主 な テ ー マ	事業名	回数 (回)	職 種
成 田 市	成田市健康づくり推進協議会	2	課	健康増進計画の策定状況 事業実績及び事業計画			
	成田市地域包括支援センター 等運営協議会	1	保	事業実績・運営に関する こと			
	成田市精神保健福祉協議会	8	精	成田市における精神保健 福祉について			
佐 倉 市	佐倉市健やかまちづくり推 進委員会	1	課	「健康さくら 21(第 2 次)の 進捗状況について			
	佐倉市障害者自立支援協議 会	2	精	佐倉市障害者自立支援協 議会における精神部会に ついて			
四 街 道 市	四街道市保健福祉審議会	2	次	第 2 次健康よつかいどう 21 プランの策定について			
八 街 市	八街市健康づくり推進協議 会	1	栄	事業報告・事業計画 八街市健康増進計画策定等			
印 西 市	印西市健康づくり推進協議 会	1	課	事業報告・事業計画 第 2 次健康いんざい 21 進捗 状況について			
	保健師連絡会	1	保	27 年度重点活動と具体的 対策			
白 井 市	保健師定例会検討会	7	保	地域包括ケア、地域づく り、第 2 次しろい健康プラ ン等について			
富 里 市	富里市健康づくり推進協議 会	1	栄	事業報告・事業計画	富里市 家族会 講演会	1	精
栄 町	栄町健康づくり推進協議会	1	課	事業報告・事業計画			
	事例検討会	3	保	要支援者事例検討			
	母子保健福祉勉強会	1	課 保	母子保健福祉施策の動向 について			

※ 職種：医(所長)、次(次長)、課(課長)、保(保健師)、栄(栄養士)、精(精神保健福祉相談員)、事(一般行政)